長野高校（普通科）シラバス

| 学校番号 | ３２１ |
|---|---|

令和２年度　芸術〔音楽〕

| 教科 | 芸術 | 科目 | 音楽Ⅰ | 単位数 | ２単位 | 年次 | １年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | ＭＯＵＳＡ１（教育出版社） | | | | | | |
| 副教材等 | Ｔｈｅ　Ｂａｓｉｃｓ　０ｆ　Ｍｕｓｉｃ（教育芸術社） | | | | | | |

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「歌うこと」「楽器を演奏すること」「音楽をつくること」「音楽を聴くこと」の４つの分野にわたって年間を通して学習します。
・学習の到達度は、ファイル（授業で配付するプリント等を挟む）、実技テストで評価します。
・音楽の学習は、仲間とともに工夫しながら練習し、全体で一つのものを作りあげます。そうして技術だけでなく、責任感、協調性、感性等、様々な力が身につきます。
・音楽が生涯に渡り、ずっとみなさんの心の支えとなり、生きていく力となることを願っています。

２　学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。

３　学習評価（評価規準と評価方法）

| 観点 | a:音楽への関心・意欲・態度 | b:音楽表現の創意工夫 | c:音楽表現の技能 | d:鑑賞の能力 |
|---|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 音楽や音楽文化に関心をもち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。 | 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについて表現意図をもっている。 | 創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付け、創造的に表している。 | 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。 |
| 評価方法 | 観察<br>ワークシート | 観察<br>ワークシート | 演奏の聴取<br>提出作品 | 観察<br>ワークシート |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

| 学期 | 題材名 | 学習内容 | 主な評価の観点 | | | | 題材の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | a | b | c | d | | |
| 1学期 | イメージをもって豊かな声で歌いあげよう！<br>～出会いのうた～ | 【歌唱】<br>「校歌」<br>「翼をください」<br><br>文化祭に向けての音楽選択者による3部合唱 | ○ | ○ | ○ | | a:歌う喜びを味わい、イメージをもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。<br>b:音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感受しながら、歌詞の内容と関わらせてどのように歌うか、表現意図をもっている。<br>c:表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身に付けている。 | 観察<br>ワークシート<br>演奏の聴取 |
| | リコーダーを楽しもう | 【器楽】リコーダーの基礎と2重奏<br>「聖者の行進」<br>「ザナルカンドにて」等 | ○ | ○ | ○ | | a:楽器に関心をもち、その持ち味を生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。<br>b:音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、器楽の音楽表現を工夫し、どのように演奏するか、音楽をつくるかについて表現意図をもっている。<br>c:楽譜・運指の基本を理解させ、表現したいことを伝えるための技能を身に付けている。 | 観察<br>ワークシート<br>演奏の聴取 |
| | 音楽基本知識を学ぼう | 【理論】プリント(音読み・音符・休符・拍子記号・音名など) | ○ | | | | a:基本的な音楽知識の学習に主体的に取り組もうとする。 | 観察<br>副読本<br>小テスト |
| | 鑑賞のファーストステップ<br>～音楽を聴く力をつけよう～ | 【鑑賞】<br>「バレエ音楽ボレロ(ラヴェル)」 | ○ | | | ○ | a:管弦楽で扱われる楽器の音色や旋律、リズムの特徴と表現上の効果との関わりに関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。<br>d:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。 | 観察<br>ワークシート |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2学期 | 旋律の美しさや言葉の響きを感じ取っておう | 【歌唱】<br>「Hidenroslein」<br>(2 種)<br>(斉唱・原語) | ○ | ○ | ○ | | a:曲想と文化的・歴史的背景との関わりに関心をもち、歌う学習に主体的に取り組もうとしている。<br>b:旋律、リズム、速度など音楽を形つくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、曲種の応じた発声の特徴を生かした表現を工夫し、どのように歌うかについて表現意図をもっている。<br>c:表現したいことを伝えるための歌唱の技術を身につけている。 | 観察<br>ワークシート<br>演奏の聴取 |
| | 三線に挑戦！ | 【器楽合奏】<br>「海の声」 | ○ | ○ | ○ | | a:三線の音色や奏法の特徴に関心をもち、それらを生かして演奏する学習に主体的に取り組んでいる。<br>b:音色やリズムなど音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。<br>c:三線の音色や奏法の特徴を生かした技能を身に付け、創造的に表している。 | 観察<br>ワークシート<br>演奏の聴取 |
| | オノマトペでリズムをつくろう | 【創作】<br>オノマトペを使った「リズム」&「アンサンブル」 | ○ | ○ | ○ | | a:日本語の豊富な擬音語や擬態語に関心をもち、その持ち味を生かして、学習に主体的に取り組もうとしている。<br>b:オノマトペ言葉の響きを考え、それをリズムや音の高低にどう当てはめるのか表現意図をもっている。<br>c:テーマに沿った音の響きやリズムの組み合わせ、正確に記譜を行える創作技能を身につけている。 | 観察<br>ワークシート<br>演奏の聴取 |
| | リズムの楽しさを感じ取ろう | 【リズム打ち】<br>Plymouth Rock | ○ | | ○ | | a:リズムに関心をもち、ペアで演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。<br>c:リズム譜を読譜し、リズムの技能を身につけている。 | 観察<br>ワークシート<br>演奏の聴取 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 3学期 | 鑑賞のステップアップ<br>～ピアノによる様々な表現効果を聴き取ろう～ | 【鑑賞】<br>「平均律」(バッハ)より<br>「ピアノソナタ」(ベートーヴェン)<br>「エチュード」(ショパン)<br>「前奏曲集」(リスト) | ○ | | | ○ | a:ピアノの歴史、作曲家、ピアノ曲に関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。<br>d:時代ごとの特徴や表現の効果との関わりを知覚、感受し、理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。 | 観察<br>ワークシート |
| | 旋律の美しさや言葉の響きを感じ取って歌おう | 【歌唱】<br>「Memory」<br>(斉唱・原語) | ○ | ○ | ○ | | a:曲想とミュージカルに関心をもち、歌う学習に主体的に取り組もうとしている。<br>b:旋律、リズム、速度など音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、曲種に応じた発声の特徴を生かした表現を工夫し、どのように歌うかについて表現意図をもっている。<br>c:表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身に付けている。 | 観察<br>ワークシート<br>演奏の聴取 |
| | 合奏の楽しさを知ろう | 【器楽合奏】<br>「曲目未定」<br>器楽合奏 | ○ | ○ | ○ | | a:楽器に関心をもち、その持ち味を生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。<br>b:音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、器楽の音楽表現を工夫し、どのように演奏するか、音楽をつくるかについて表現意図をもっている。<br>c:楽譜・運指の基本を理解させ、表現したいことを伝えるための技能を身に付けている。また仲間と合わせることが出来る。 | |

※　表中の観点について　a:音楽への関心・意欲・態度　　b:音楽表現の創意工夫
c:音楽表現の技能　　d:鑑賞の能力

※　原則として、「歌唱」「器楽」「創作」の分野は a, b, c の３観点で、「鑑賞」の分野は a, d の２観点で評価をする。

※　年間を通して全ての観点について評価することとなるが、学習内容（題材）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。